



ニ進マサル可ラズ此重任ニ當ル者ハ日本ノタメニ大ニ盡ス所ナカラン可ラザルナリ

雜報

○皇太子の御遊幸 聖上ハ來る十五日午前九時三十分御遊幸ニ出向。皇太子ハ御遊幸ニ出向。皇太子ハ御遊幸ニ出向。

○御遊幸の御実 皇太子ハ御遊幸ニ出向。皇太子ハ御遊幸ニ出向。皇太子ハ御遊幸ニ出向。

○御遊幸の御実 皇太子ハ御遊幸ニ出向。皇太子ハ御遊幸ニ出向。皇太子ハ御遊幸ニ出向。

○御遊幸の御実 皇太子ハ御遊幸ニ出向。皇太子ハ御遊幸ニ出向。皇太子ハ御遊幸ニ出向。

○御遊幸の御実 皇太子ハ御遊幸ニ出向。皇太子ハ御遊幸ニ出向。皇太子ハ御遊幸ニ出向。

○御遊幸の御実 皇太子ハ御遊幸ニ出向。皇太子ハ御遊幸ニ出向。皇太子ハ御遊幸ニ出向。

○御遊幸の御実 皇太子ハ御遊幸ニ出向。皇太子ハ御遊幸ニ出向。皇太子ハ御遊幸ニ出向。

○御遊幸の御実 皇太子ハ御遊幸ニ出向。皇太子ハ御遊幸ニ出向。皇太子ハ御遊幸ニ出向。

○検査 大蔵省にては近々官吏を八道へ遣出し各府縣の酒造家を検査せしめらるゝよし

○租税局 大蔵省租税局にては今般賣煙草の兩新稅發行ノ付右取調等にて非常の繁忙ゆゑ同局結の官員は法四日の御用始より早出居残りをせらるゝ由

○豫算取調 大蔵省調査局にては十六年度の各官省院府縣の豫算取調を此際より着手せられしよし

○新聞檢閲 今回内閣書記局中へ新聞檢閲掛といふを置かれたり

○地方官巡廻 各府縣に長官にして其管轄内を巡廻するゝ度數は其府縣の都合に依り一ケ年一回或ハ二回位ありしが今後ハ春秋二季と定まりたる由

○出納事務引繼 外國に係る金銀貨幣の出納事務は是迄大蔵省調査局にて扱はれしが今般同省庶務局に於て取扱はるゝ事になり一昨日該事務を引繼かれたり

○水産博覽會 同會事務所は目下建築地場所にて手狭あるを以て同所は脇へ一棟を新築され漸次出京の各府縣委員の溜所を供せらるゝに付餘程工事を急がるゝといふ

○大日本山林會 來る廿日午後一時農商務省議事堂に於て大日本山林會役員議員の選舉會を開れ畢て會員一同芝公園なる紅葉館に於て新年の宴を催さるゝ由

○跡引受人 大坂は第百二十六國立銀行は鎮店處分を請けるに付き跡引受人ハ大坂府平民猪飼九兵衛殿卓縣平民杉山茂岡縣士族小西央の三氏に申付られ該銀行の借借に係る事件ハ右の三氏に引合可申官大藏卿より告示せられたり

○規則改正 陸軍省にて軍人父母疾病の節歸省及死亡の時忌引等の規則を改正さるゝと聞く

○海軍士官學校 今回新設にありし同校ハ東海鎮守府の次位に列せらるゝ由

○海軍兵學校生徒 同校生徒の客廠中外宿を許さるゝし者は去る七八兩日の内ハ尽く入校せしめ昨日より授業を始りられり

○船務修繕所 築地四丁目海軍兵器局前の海岸へ船務修繕所を新設せらるゝに於て目下測量中とせり

○海軍兵器局 全局を赤羽根工作分局へ移さるゝ事ハ既ハ前報にも記載せしが右ハ全局該工場のみを移し事務ハ依然舊局にて取扱はるゝといふ又該工場に移したる客廠中の筈ありしも未だ普請出來せざるに據りしは本月中中旬迄ハ急引移さるゝ都合あり

○近衛射的 近衛射的は來る十五日より皇宮射的場を以て例の日射的を始めるといふ

○米國より來る論 多年我國に在留して方糖の製法が米國のトクトム、シーモンズ、メー、十四五年より米國へ歸航の途に遊覽なしたるの紅梅よりし時吉君へ寄せたる書簡は印度の國情ももれあるを以て譯して昨年五月に登錄せしが近頃シーモンズ君歸國運進歩は實境も委實書綴りて福澤の書狀は一層米國の事情を詳しめしめ左に譯載す

拜啓餘程久しき以前涉隠は相成り候一人既に領手致し居り候得共私示且夫故速に御返書も致さる段偏に歸着以來半とは舊友を訪問いし去て十四年の間ハ我本國に如何あるを探らんため彼處此處奔走致し居る民の發達の宏大にして且迅速なる成近來如何程に米國人民が富財を堆積悵を喫し言語の外ある次第にて歐羅比類はれなく現に當府に於てある某千万弗に達し其外一百万より一千万の澤山あり蓋し一千軒或ハ其以十五年以前には十万人身代なる人今日とありては百万の身代ある者が某市邑に如く僅く三年にして其人口増殖する位畢竟斯の大發達の原因とに涉座候ロツキ、山及びミナガン湖とウィッソ、ヒー河の間ある合衆國中として人烟あき土地なりしも今日吾とあり其十壤の數百年間耕種を装ら然に豊饒されハ彼の舊邦國の如くよを潤はすは法を要せず穀物の年毎に増せらるゝとなく恰も大地より黄金をばらけ候而して鐵路ハ此等の新邦國を以て土地は產物は容易ハ大西洋に歐洲ハ自國人民に供すべき充分の糧を更ニ其地ハ輪輸去るを得候此等て如何に裕感候や須く其土地を耕隔の地に至るまで道路を開鑿し而を獎勵成され度被存候固より許山を以て曠野ある阿米利加ハ大地と比較は私も存居候得共去日本國中はこれあり候借て堅固凡重死狀況は申の姿を見候得共又國中嘆息すべし富財を有するの人恒に富財の爲に